



三川っ子だより

No.2

地域とともに育つ学校づくり

5月1日の参観会、5日18日の引き渡し訓練などへの御参加、ありがとうございました。保護者の皆様に学校に足を運んでいただき、子供たちのがんばる姿を見ていただけるよう、今後もこのような機会を設けていきたいと思えます。学年によっては、保護者の方の学習ボランティアを募集しています。ぜひ一緒になって子供たちの学びや成長を支えていきましょう。

さて、袋井市では、平成28年度より全小中学校を「コミュニティ・スクール」として学校運営協議会を設置し、学校と地域との連携・協働から成る「地域とともにある学校づくり」を推進しています。本校でも、御家庭だけでなく多くの地域の方にも支援をしていただくことで学校運営が成り立っていますが、今回は、その一部を紹介したいと思います。

【地域学校協働本部による学校支援】

もともとコミュニティセンターが中心となって三川小の学校支援をしてくださっていた組織がありましたが、それが少しずつ形を変えて、今は「地域学校協働本部」という名前で学校の応援団として活動してくださっています。先日の学校説明動画でも紹介させていただきましたが、協働本部の推進委員として、乗松さんと西村さんのお二人が学習支援の呼び掛けや外部講師の方との交渉など、学校と地域とのパイプ役となり取り組んでくださっています。保護者の方も、「できるときに、できることを」のスタンスで構いませんので、ぜひ御協力をお願いします。

【地域学校協働活動の例】

- ・5年生家庭科裁縫の学習支援
- ・6年生家庭科ミシンの学習支援
- ・1年生下校見守り
- ・2年生まちたんけん学習支援
- ・1年生昔のあそび学習支援
- ・6年生青墓小交流活動のサポート
- ・参観会での、駐車場案内や懇談会中の託児対応
- ・環境整備(運動場周辺の草刈り・草取り、花壇の整備) など



(5/22 環境整備の様子)

※環境整備は、学校に来て自主的に草取りをしてくださる方もいらっしゃいます。

【読み聞かせボランティア「語るんじゃー」】

毎週月曜日の朝の時間、読み聞かせボランティア「語るんじゃー」の皆さんがクラスごとに本の読み聞かせをしてくださっています。子供たちはとても楽しみにしていて、どのクラスも真剣に読み聞かせに耳を傾けています。



【地域の皆様による御支援】

学校は、三川地区にお住まいの方々から、三川幼小後援会費のほか、様々な御支援をいただいています。学校や子供たちのための温かい御支援に感謝申し上げます。

- ① よりそいプラザ(旧 JA 跡地)に古紙回収のコンテナが設置されています。これは、三川幼稚園、三川小学校の子供たちの活動の充実を目的とし、まちづくり協議会の働き掛けにより設置されたものです。回収により得られた収益金は、三川幼小後援会会計の収入となり、アスレチック積立金や学校環境美化・整備費、児童の就学奨励費として、有効に使わせていただいています。



令和7年度の収益金:514,410円

- ② 自治会で行っている月2回の資源ごみ回収のうち、アルミ缶回収による収益金の半分は、三川小 PTA 特別会計の収入となり、アスレチック積立金や児童活動・消耗品費等として、有効に使わせていただいています。

令和7年度の収益金:46,660円

今年度、学校では2回(6/14、9/6)の PTA 資源回収を予定しています。その回収日以外に各家庭からの資源がありましたら、よりそいプラザの古紙回収や自治会のアルミ缶回収に御協力ください。

【トピック】

芸術鑑賞会

5月18日(月)には、芸術鑑賞会がありました。全校で、劇団「風の子」による「ギャング・エイジ」の演劇を楽しみました。迫力のある演技や思わず笑顔がこぼれる演出に、子供たちも楽しんでいました。

本年度は、この観劇料を後援会の児童奨励費から支出させていただきました。地域の皆様に感謝申し上げます。



防災教育



5年生は総合的な学習で防災をテーマに取り組んでいます。年間を通して講師として一緒に授業に関わってくださっているのが、防災士の高橋さんです。高橋さんは三川小の学校運営協議会の委員でもあり、学校経営について一緒に考えていただくメンバーの一人です。

先日の授業では、家庭用の非常用持ち出し袋の中身について一緒に考えたり、災害時の備えとしてのトイレの重要性などについて教えてくださったりしました。また、クイズや動画なども交えながら工夫して進めてくださり、子供たちが自分ごととして考える学習につながっています。

